



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社駒井ハルテック 上場取引所 東
 コード番号 5915 URL <https://komaihaltec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 責任
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 駒井 寛 TEL 03-3833-5101

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	24,135	△22.5	55	—	351	—	154	△82.9
2025年3月期第3四半期	31,154	△24.1	△371	—	△93	—	907	92.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,478百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △272百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	33.25	—
2025年3月期第3四半期	194.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	64,737	33,759	52.1	7,367.48
2025年3月期	69,324	31,826	45.9	6,810.62

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 33,759百万円 2025年3月期 31,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
2026年3月期	—	35.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期期末配当金1株当たり45円のうち10円は特別配当であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△16.2	90	△68.8	310	△51.4	180	△85.9	38.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	4,972,709株	2025年3月期	4,972,709株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	390,519株	2025年3月期	299,589株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	4,658,218株	2025年3月期3Q	4,670,984株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き米国トランプ政権の政策による影響もありましたが、緩やかなプラス成長に戻ったものと思われれます。また、高市政権の経済政策への期待により、円安・株高が進行したことで、企業の収益悪化懸念が和らぎ、設備投資需要が復調し、GDPを支えたものと考えられます。夏場に陰りが見られたインバウンド消費も円安を背景に再び上昇基調に戻り、日本の外需を支えたものと考えられます。しかしながら、食品を中心とした値上げが相次ぐなどして、生活に身近な物価の上昇が続いており個人の節約志向は高止まりしております。また、人手不足を起因とする供給制約や政府の財政拡張政策にともなう金利や為替の急変動に加えて、中国との関係悪化によるインバウンドや輸出への影響は今後のリスク要因となります。今後につきましては、企業の設備投資が内需をけん引することで、緩やかな上昇基調が続くと考えられ、高市政権の経済対策が企業や消費者の意識を改善することも期待されます。

橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁の発注量は前年同四半期比を下回っております。また、鉄骨の発注量も前年同四半期比を下回っており、材料費の高止まりや人件費の上昇などによるコスト増が業績の下振れに繋がることが懸念されます。

このような事業環境のなか、当第3四半期連結累計期間の受注高は225億4千6百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。売上高は総額241億3千5百万円（同22.5%減）となりました。

損益につきましては、売上高の減少に加え、引き続き新規事業に係る販売費及び一般管理費の調査研究費を負担したことなどにより、営業利益5千5百万円（前年同四半期は3億7千1百万円の損失）、経常利益3億5千1百万円（同9千3百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億5千4百万円（前年同四半期比82.9%減）となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

— 橋梁事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、国土交通省中国地方整備局令和7年度西広島バイパス観音橋高架橋鋼上部工事、国土交通省中部地方整備局令和7年度23号豊橋B P大崎 I C 中高架橋B 1 鋼上部工事他の工事などで128億4千2百万円（前年同四半期比177.6%増）となりました。

売上高は、大阪府大阪モノレール鋼軌道桁建設工事（荒本西工区外）、国土交通省中部地方整備局令和6年度瑞浪恵那道路瑞浪2号橋鋼上部工事他の工事などで94億2千4百万円（同23.6%減）となり、これにより受注残高は278億6百万円（同97.2%増）となっております。

— 鉄骨事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、内幸町一丁目街区セントラルタワー新築工事他の工事などで95億6千4百万円（前年同四半期比45.8%減）となりました。

売上高は、東京駅前八重洲一丁目東B地区第一種市街地再開発事業（新築工事）他の工事などで142億7千9百万円（同22.4%減）となり、これにより受注残高は247億2千6百万円（同6.7%減）となっております。

— インフラ環境事業 —

主に陸上風力発電設備の製作及び現場施工等による環境事業、インフラを中心とした海外事業における当第3四半期連結累計期間の受注高は、1億3千8百万円（前年同四半期比363.7%増）、売上高は2千9百万円（同38.9%増）となり、これにより受注残高は1億6千9百万円（同75.1%減）となりました。

— 不動産事業 —

当社グループは、大阪市西淀川区にある大阪事業所の未利用地部分等について賃貸による不動産事業を行っており、当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は3億5百万円（前年同四半期比0.1%減）となっております。

— その他 —

当社グループは、その他の事業として印刷事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は9千6百万円（前年同四半期比4.2%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より45億8千7百万円減少し、647億3千7百万円となりました。

資産の部では、前連結会計年度末より受取手形・完成工事未収入金及び契約資産が56億1千8百万円減少したことなどにより、流動資産が83億6千2百万円減少し、355億円となりました。固定資産は前連結会計年度末より37億7千5百万円増加し、292億3千6百万円となりました。

負債の部では、前連結会計年度末より短期借入金が27億3千9百万円減少したことなどにより、流動負債が51億9千4百万円減少し、147億1千9百万円となりました。固定負債は162億5千8百万円となり、負債合計は前連結会計年度末より65億1千9百万円減少し、309億7千8百万円となりました。

純資産の部では、前連結会計年度末より利益剰余金が2億1千9百万円減少したもののその他有価証券評価差額金が23億4千7百万円増加したことなどにより、純資産は19億3千2百万円増加し、337億5千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予測につきましては2025年5月13日に開示しました連結業績予測から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,317	8,263
受取手形・完成工事未収入金及び契約資産	28,640	23,021
電子記録債権	3,345	1,990
未成工事支出金	198	315
材料貯蔵品	1,133	1,075
未収入金	64	156
その他	165	680
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	43,863	35,500
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	4,116	4,339
機械・運搬具（純額）	1,875	1,826
土地	8,585	8,585
その他（純額）	2,834	3,053
有形固定資産合計	17,411	17,804
無形固定資産		
その他	229	195
無形固定資産合計	229	195
投資その他の資産		
投資有価証券	7,519	10,952
その他	308	292
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,819	11,236
固定資産合計	25,460	29,236
資産合計	69,324	64,737

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	3,438	3,275
電子記録債務	1,980	2,341
短期借入金	4,856	2,117
1年内償還予定の社債	1,750	1,450
未成工事受入金	3,174	3,280
工事損失引当金	51	71
引当金	411	207
その他	4,249	1,977
流動負債合計	19,913	14,719
固定負債		
社債	2,900	1,950
長期借入金	9,160	7,739
繰延税金負債	2,452	3,517
退職給付に係る負債	2,134	2,125
その他	936	927
固定負債合計	17,584	16,258
負債合計	37,497	30,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	7,779	7,773
利益剰余金	13,920	13,701
自己株式	△677	△843
株主資本合計	27,642	27,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,999	6,347
退職給付に係る調整累計額	184	160
その他の包括利益累計額合計	4,184	6,507
純資産合計	31,826	33,759
負債純資産合計	69,324	64,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
完成工事高	31,154	24,135
完成工事原価	28,651	20,916
完成工事総利益	2,503	3,219
販売費及び一般管理費	2,874	3,163
営業利益又は営業損失(△)	△371	55
営業外収益		
受取配当金	317	287
受取家賃	40	35
材料屑売却益	81	62
債権取立益	21	-
補助金収入	108	-
売電収入	10	44
雑収入	23	28
営業外収益合計	603	458
営業外費用		
支払利息	134	97
支払手数料	190	64
雑支出	0	0
営業外費用合計	325	163
経常利益又は経常損失(△)	△93	351
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	1,635	-
補助金収入	497	506
特別利益合計	2,132	506
特別損失		
固定資産除売却損	143	110
固定資産圧縮損	495	540
システム障害対応費用	36	-
その他	7	-
特別損失合計	682	651
税金等調整前四半期純利益	1,356	207
法人税、住民税及び事業税	417	26
法人税等調整額	31	25
法人税等合計	449	52
四半期純利益	907	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	907	154

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	907	154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,159	2,347
退職給付に係る調整額	△20	△24
その他の包括利益合計	△1,179	2,323
四半期包括利益	△272	2,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△272	2,478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年11月13日開催の取締役会議に基づき、2025年11月14日に東京証券取引所における自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) により、当社普通株式99,000株の取得を行いました。

この自己株式の取得により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1億8千4百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が8億4千3百万円となっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費 (のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。) 及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	699百万円	1,227百万円
のれんの償却額	102 "	— "

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	橋梁事業	鉄骨事業	インフラ 環境事業	不動産 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	150	269	21	—	441	92	534	—	534
一定期間にわたり 移転される財	12,185	18,129	—	—	30,314	—	30,314	—	30,314
顧客との契約から生じる 収益	12,336	18,399	21	—	30,756	92	30,849	—	30,849
その他の収益	—	—	—	305	305	—	305	—	305
外部顧客への売上高	12,336	18,399	21	305	31,062	92	31,154	—	31,154
セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	—	—	2	2	100	103	△103	—
計	12,336	18,399	21	308	31,065	193	31,258	△103	31,154
セグメント利益 又は損失（△）	1,511	△383	△269	242	1,100	△4	1,095	△1,467	△371

（注） 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、印刷事業等を含んでおり
ます。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,467百万円には、セグメント間取引消去△19百万円、各報告セグメン
トに配分していない全社費用△1,447百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属
しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	橋梁事業	鉄骨事業	インフラ 環境事業	不動産 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	149	410	27	—	587	96	684	—	684
一定期間にわたり 移転される財	9,274	13,869	1	—	23,146	—	23,146	—	23,146
顧客との契約から生じる 収益	9,424	14,279	29	—	23,733	96	23,830	—	23,830
その他の収益	—	—	—	305	305	—	305	—	305
外部顧客への売上高	9,424	14,279	29	305	24,039	96	24,135	—	24,135
セグメント間の内 部売上高又は振替高	42	—	—	3	45	84	129	△129	—
計	9,467	14,279	29	308	24,085	180	24,265	△129	24,135
セグメント利益 又は損失 (△)	1,550	424	△377	244	1,843	△5	1,837	△1,781	55

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、印刷事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,781百万円には、セグメント間取引消去△14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,767百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注高及び受注残高

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)		前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受 注 高	橋梁事業	4,625	20.8	12,842	57.0	18,433	41.8
	鉄骨事業	17,631	79.1	9,564	42.4	25,622	58.0
	インフラ環境事業	29	0.1	138	0.6	98	0.2
	合 計	22,286	100.0	22,546	100.0	44,155	100.0

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (2024年12月31日現在)		当第3四半期 連結累計期間 (2025年12月31日現在)		前連結会計年度 (2025年3月31日現在)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受 注 残 高	橋梁事業	14,100	34.1	27,806	52.8	24,388	45.3
	鉄骨事業	26,503	64.2	24,726	46.9	29,441	54.6
	インフラ環境事業	682	1.7	169	0.3	60	0.1
	合 計	41,287	100.0	52,703	100.0	53,890	100.0

2. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)		前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋梁事業		12,336	39.6	9,424	39.0	15,856	39.1
鉄骨事業		18,399	59.0	14,279	59.2	23,452	57.8
インフラ環境事業		21	0.1	29	0.1	712	1.8
不動産事業		305	1.0	305	1.3	407	1.0
そ の 他		92	0.3	96	0.4	123	0.3
合 計		31,154	100.0	24,135	100.0	40,553	100.0